

小中一貫校(豊田中学区)整備等に関する基本構想

資 参考資料

- | | | |
|-----|-----------------------|-----|
| 資—1 | 豊田中学区におけるアンケート調査結果の概要 | 1 |
| 資—2 | 豊田中学区における説明会の結果概要 | 1 7 |

平成 27 年 3 月

小 山 市

資 参考資料

資一１．豊田中学区におけるアンケート調査結果の概要

１）調査概要

（１）調査の目的

- 豊田中学区において小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等を推進するにあたり、住民の皆様の意見や考え方を把握するために行いました。

（２）調査の対象

調査の対象		世 帯 数
合 計		6 7 6 世 帯
	小学生以下（１２歳以下）の子供がいる世帯	3 4 1 世 帯
	その他の世帯からの無作為抽出	3 3 5 世 帯

（３）調査の方法

- 郵送による配布・回収

（４）調査の期間

- 平成２６年９月４日（木）～９月２４日（水）

（５）回収状況

- 配布数６７６票に対して、回答数は３１５票、回答率は４６．６％でした。

配付対象		配布数	回答数	回答率
合 計		6 7 6 票	3 1 5 票	4 6 . 6 %
	小学生以下（１２歳以下）の子供がいる世帯	3 4 1 票	1 7 6 票	5 1 . 6 %
	その他の世帯	3 3 5 票	1 3 9 票	4 1 . 5 %

【調査結果の表記について】

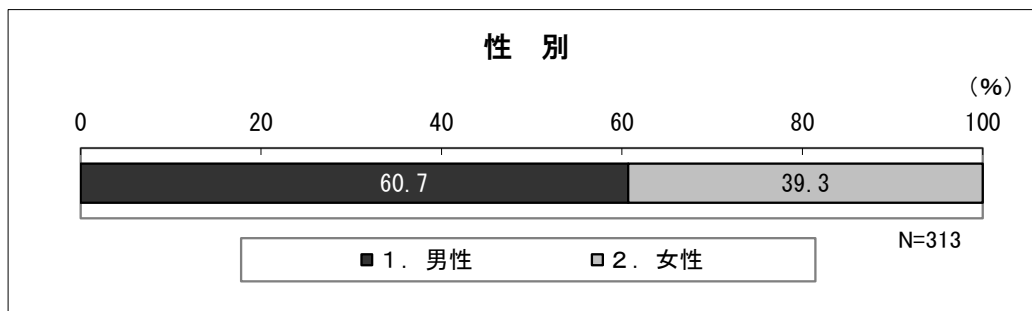
- １：構成比（％）は、不明（無回答）及び非該当を除きます。
- ２：小数点第２位を四捨五入しているため、合計が１００％にならない場合があります。

2) 集計結果

問1. 性別 [単数回答]

○ 男性が6割を占め、男性の割合が高くなっています。

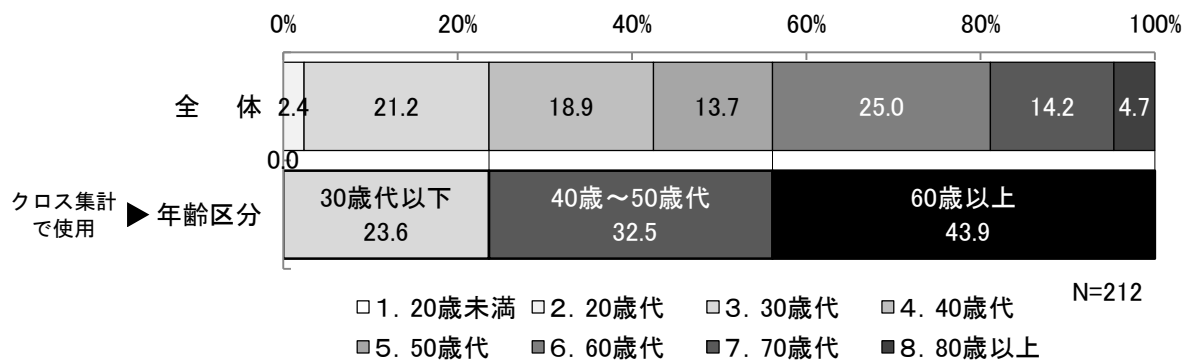
- ・男性は60.7%で6割を占め、女性は39.3%で4割弱となっており、男性の割合が高くなっています。



問2. 年齢 [単数回答]

○ 60歳代が最も多く、次いで30～40歳代が多くなっています。

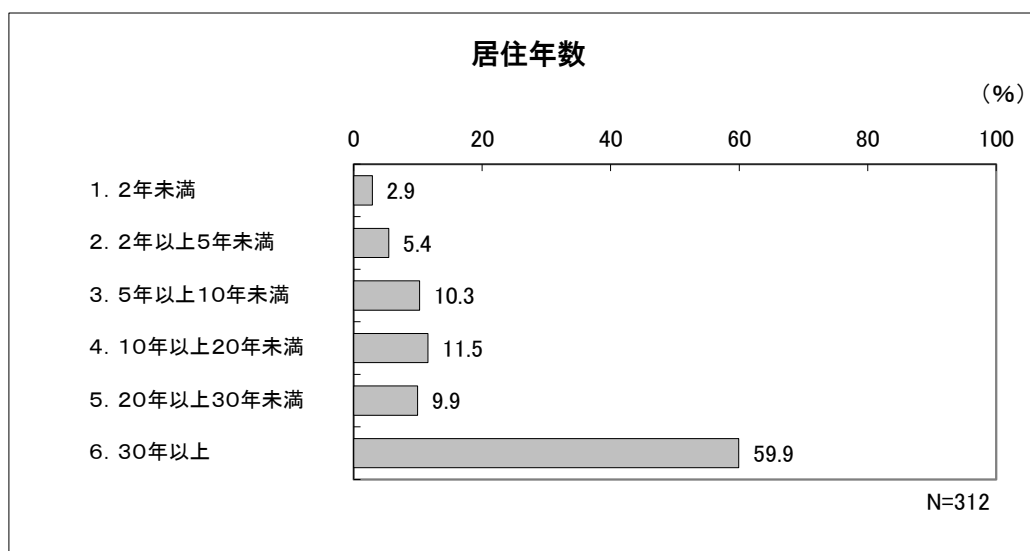
- ・「60歳代」が26.6%で最も多く、次いで「30歳代」が21.2%、「40歳代」が19.9%と多くなっています。
- ・小学生以下の子どもがいる世帯を調査対象としたことにより、子どもの親にあたる30歳代～40歳代も多くなったと考えられます。
- ・なお、クロス集計には、内訳の3区分で分析を行います。



■ 問3. 居住年数 [単数回答]

○ 30年以上居住している人が約6割を占め、最も多くなっています。

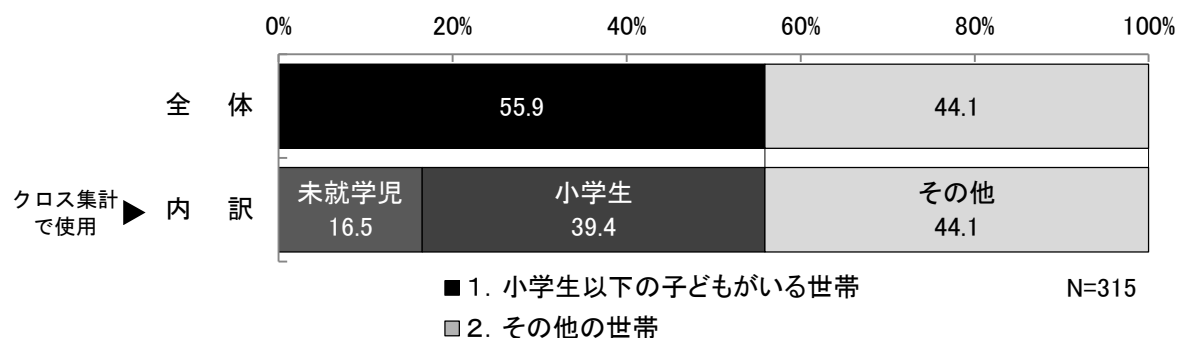
- ・「30年以上」が64.0%と6割以上を占め、最も多くなっており、全体的に居住年数の長い人が多くなっています。



■ 問4. 同居している子どもの有無と学年（年齢）〔複数回答〕

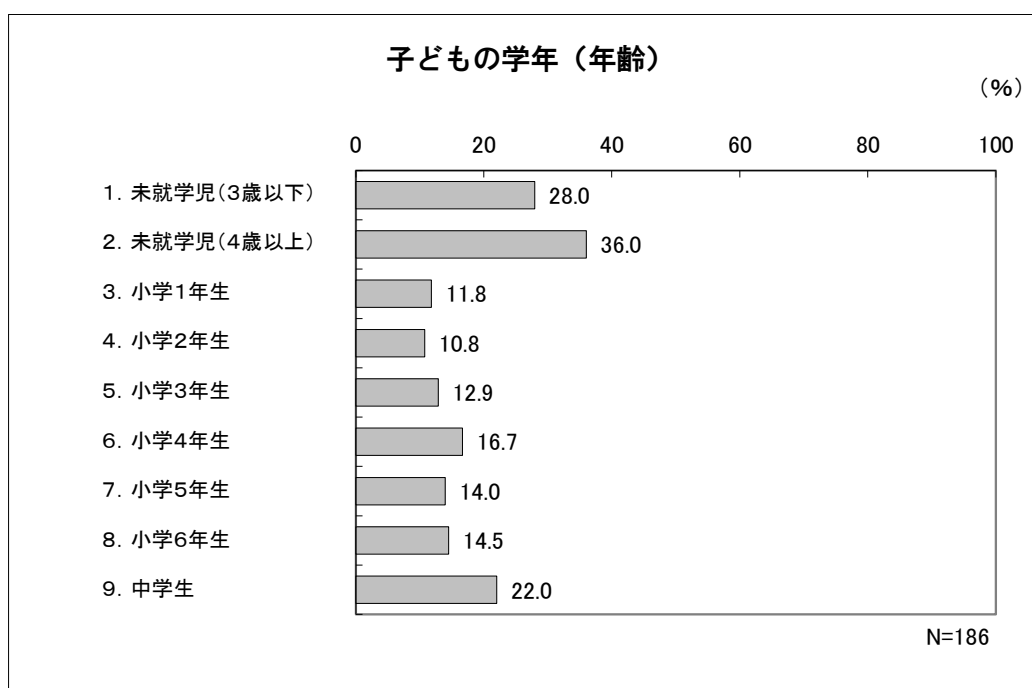
○ 小学生以下の子どもと同居しているのは半数以上となっています。

- ・「1. 小学生以下の子どもがいる」は55.9%で、半数以上を占めています。
- ・なお、クロス集計に際には、内訳の3区分で分析を行います。



○ 未就学児（4歳以上）が最も多く、小学生においては、学年（年齢）が低くなる程、概ね減少傾向にあります。

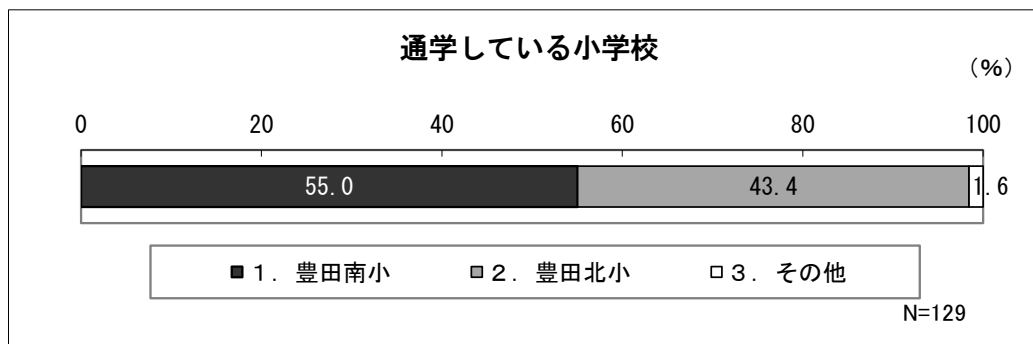
- ・「2. 未就学児（4歳以上）」が36.0%で最も多くなっています。
- ・小学生のうち、「7. 小学4年生」が16.7%で最も多くなっていますが、「8. 小学6年生」から「3. 小学1年生」にかけて、概ね減少傾向にあります。



■ 問5. 同居している小学生が通学している学校 [単数回答]

○ 豊田南小、豊田北小の順番に多くなっています。

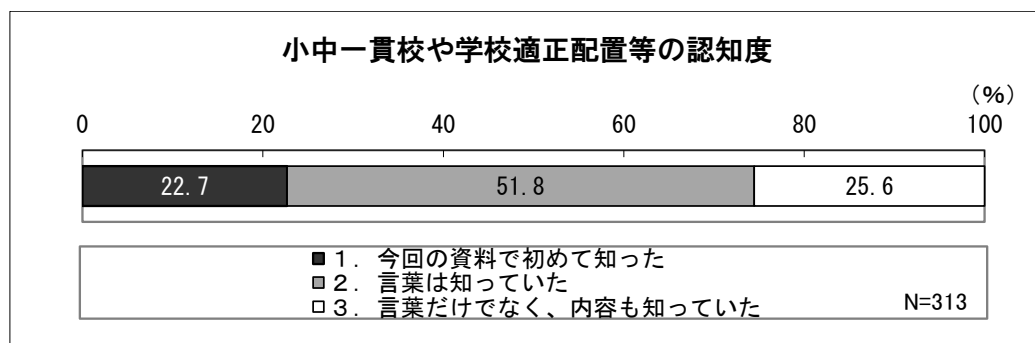
- ・「1. 豊田南小」が 55.0%で最も多く、半数以上を占めており、次いで「2. 豊田北小」が 43.4%となっています。



■ 問6. 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の認知度〔単数回答〕

○ 約4分の3以上が言葉あるいは内容を知っており、認知度は高くなっています。

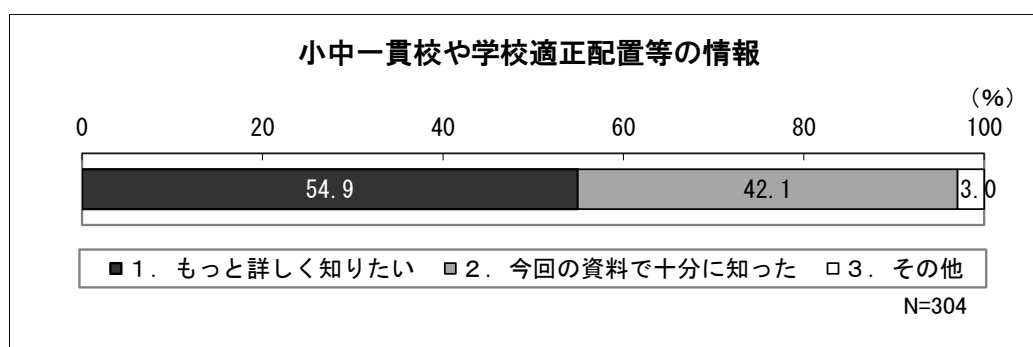
- ・「2. 言葉は知っていた」が 51.8%で半数以上を占め、次いで「3. 言葉だけでなく、内容も知っていた」が 25.6%で2割以上を占めていることから、約4分の3以上が言葉あるいは内容を知っており、認知度は高くなっています。
- ・一方で、「1. 今回の資料で初めて知った」は 22.7%で、2割以上となっています。



■ 問 7. 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）の情報〔単数回答〕

○「もっと詳しく知りたい」が半数以上を占める一方で、「今回の資料で十分に知った」も4割以上を占め、一定の周知・PRの効果があったと考えられます。

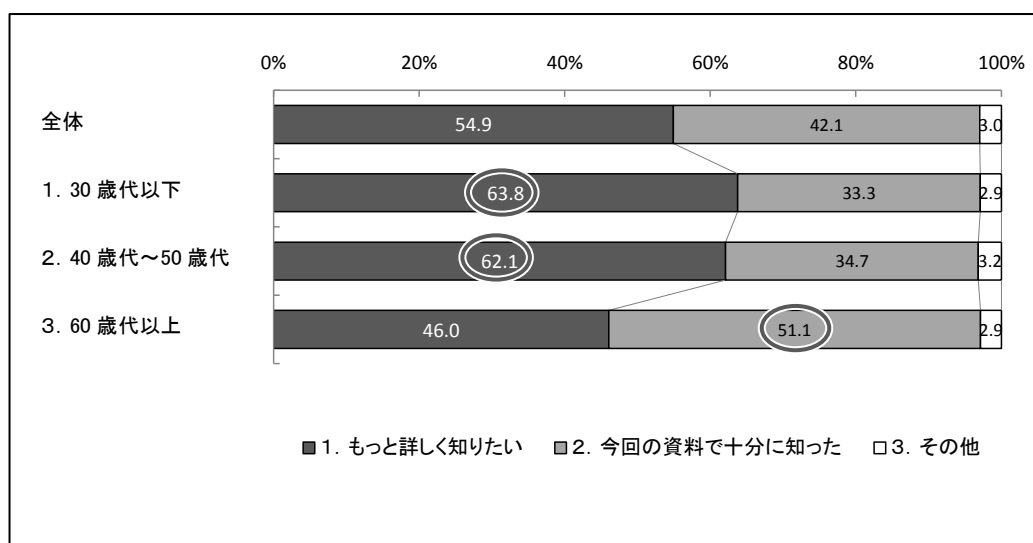
- ・「1. もっと詳しく知りたい」が 54.9%で半数以上を占め、次いで「2. 今回の資料で十分に知った」が 42.1%で4割以上を占めていることから、一定の周知・PRの効果があったと考えられます。
- ・今後も、必要に応じて、周知・PRを行っていくことが課題となります。



【年齢別】

○年齢層が低くなるにつれて、小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の情報に対する関心が高くなる傾向にあります。

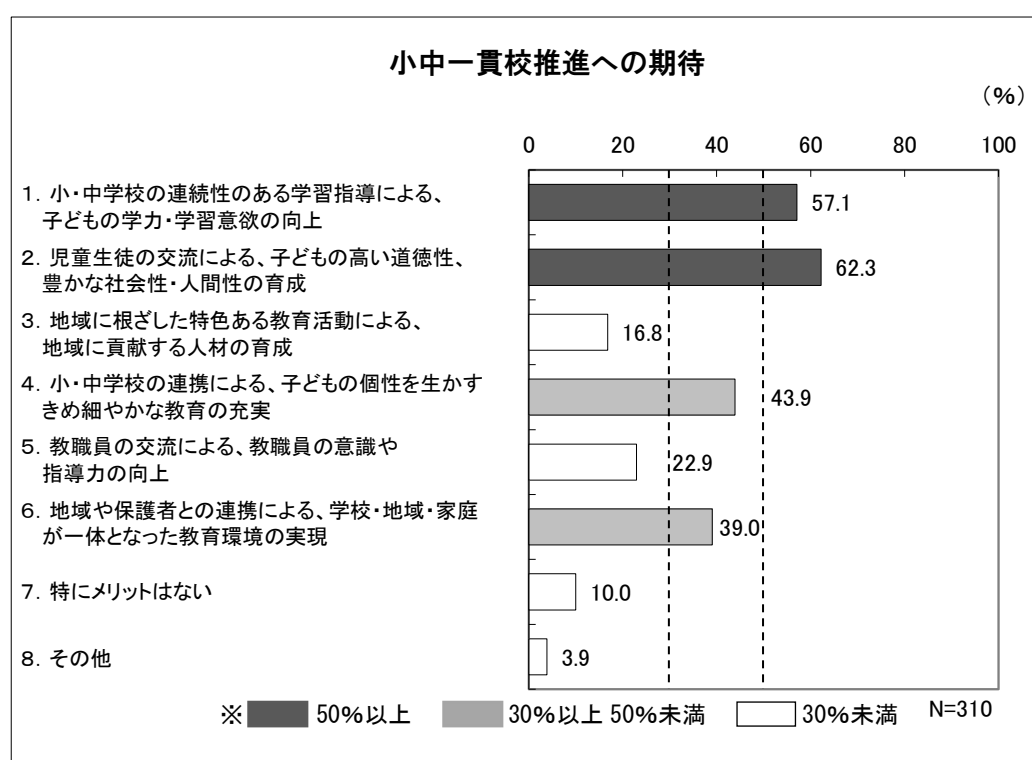
- ・30歳代以下や40歳代～50歳代では、「1. もっと詳しく知りたい」が6割を占め、全体と比べても多くなっています。
- ・60歳代以上では、「2. 今回の資料で十分に知った」が51.1%で半数以上を占め、「1. もっと詳しく知りたい」よりもやや多くなっています。



■ 問 8. 小中一貫校推進への期待〔複数回答〕

○「児童生徒の交流による、子どもの高い道徳性、豊かな社会性・人間性の育成」や、「小・中学校の連続性のある学習指導による、子どもの学力・学習意欲の向上」がそれぞれ約6割を占め、特に期待が大きくなっています。

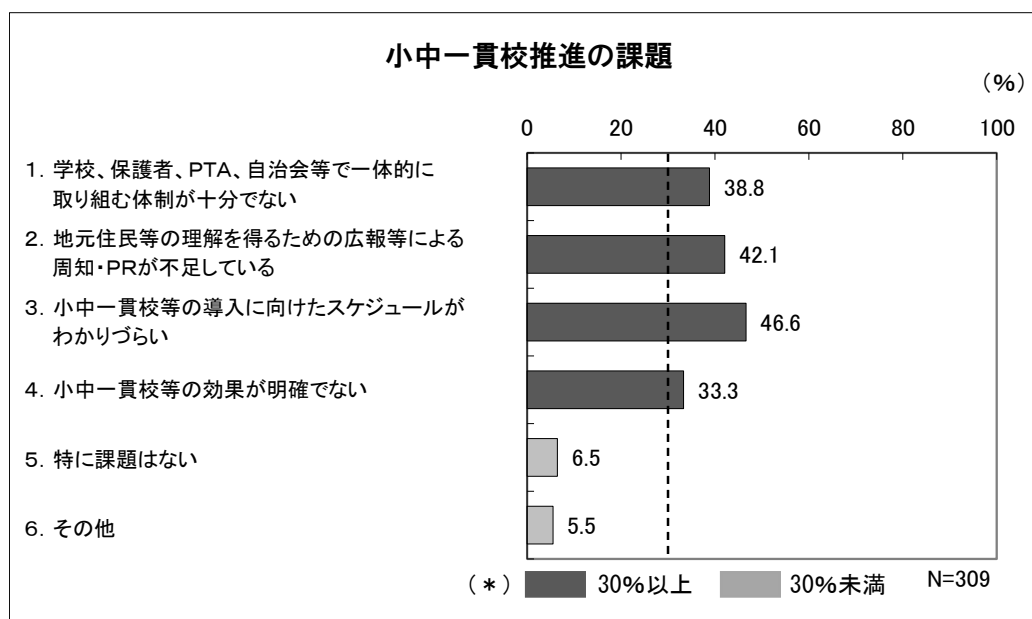
- ・「2. 児童生徒の交流による、子どもの高い道徳性、豊かな社会性・人間性の育成」が62.3%、「1. 小・中学校の連続性のある学習指導による、子どもの学力・学習意欲の向上」が57.1%で、それぞれ約6割を占めており、他と比べて特に期待が大きくなっています。
- ・その他、「4. 小・中学校の連携による、子どもの個性を生かすきめ細やかな教育の充実」が43.9%、「6. 地域や保護者との連携による、学校・地域・家庭が一体となった教育環境の充実」が39.0%で、やや多くなっています。
- ・一方で、「7. 特にメリットはない」は10.0%で、他と比べて少なくなっています。



■ 問9. 小中一貫校推進の課題【複数回答】

○「小中一貫校等の導入に向けたスケジュールがわかりづらい」、「地元住民等への周知・PRが不足している」がともに4割以上を占め、課題と考える人が多くなっています。

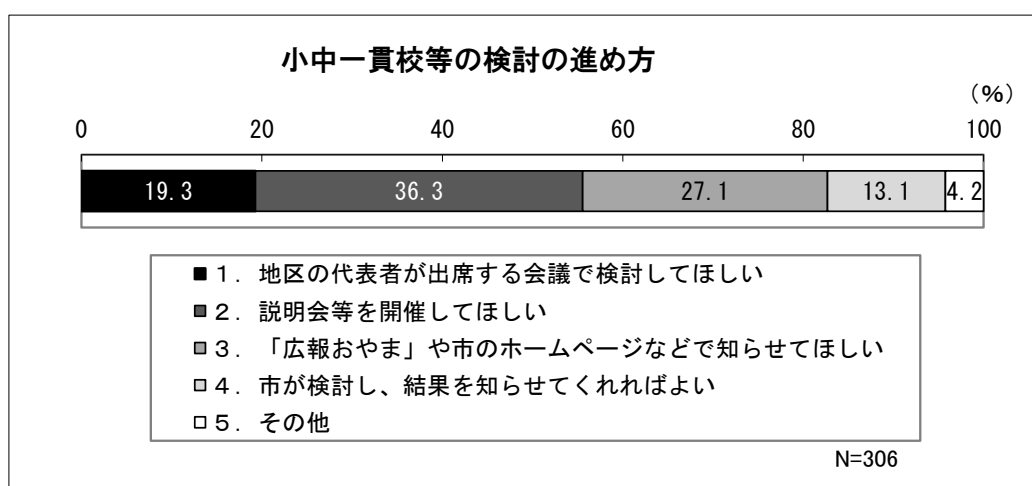
- ・「3. 小中一貫校等の導入に向けたスケジュールがわかりづらい」が46.6%、「2. 地元住民等の理解を得るための広報等による周知・PRが不足している」が42.1%で、ともに4割以上を占めており、課題と考える人が特に多くなっています。
- ・また、「1. 学校、保護者、PTA、自治会等で一体的に取り組む体制が十分でない」が38.8%、「4. 小中一貫校等の効果が明確でない」が33.3%で、3割以上を占めており、課題と考える人がやや多くなっています。



■ 問 1 0 . 小中一貫校等の検討の進め方 [単数回答]

○「説明会を開催してほしい」が3割以上を占め、最も多くなっています。

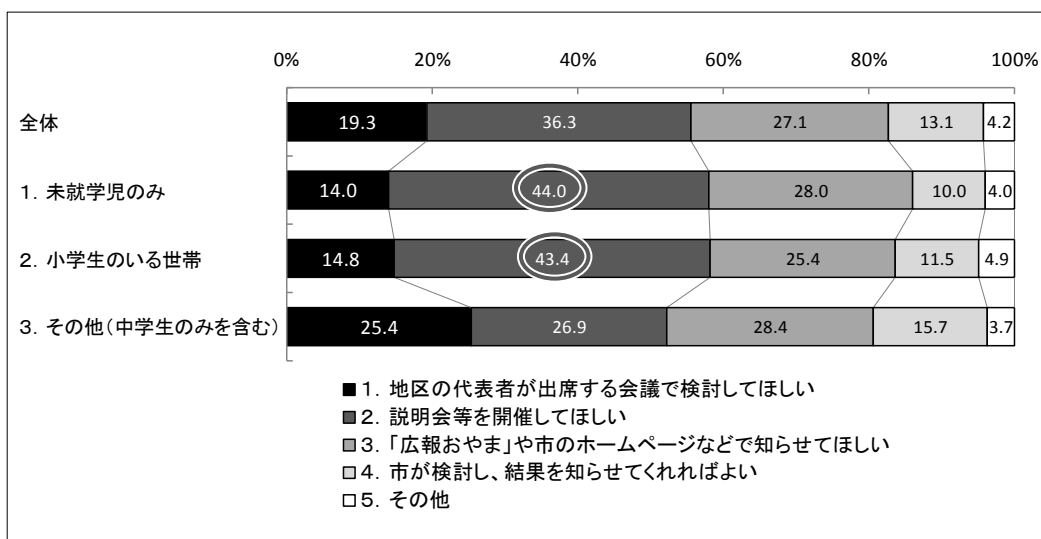
- ・「2. 説明会を開催してほしい」が 36.3%と 4 割近くを占め、最も多くなっています。
- ・次いで「3. 「広報おやま」や市のホームページなどで知らせてほしい」が 27.1%で、3 割近くと多くなっています。
- ・今後、説明会等の開催により、地域住民への周知・P R や意見交換を行いながら検討を進めることが課題になると考えられます。



【子どもの年齢・学年別】

○ 小学生以下の子どもがいる世帯では、「2. 説明会等を開催してほしい」が特に多くなっています。

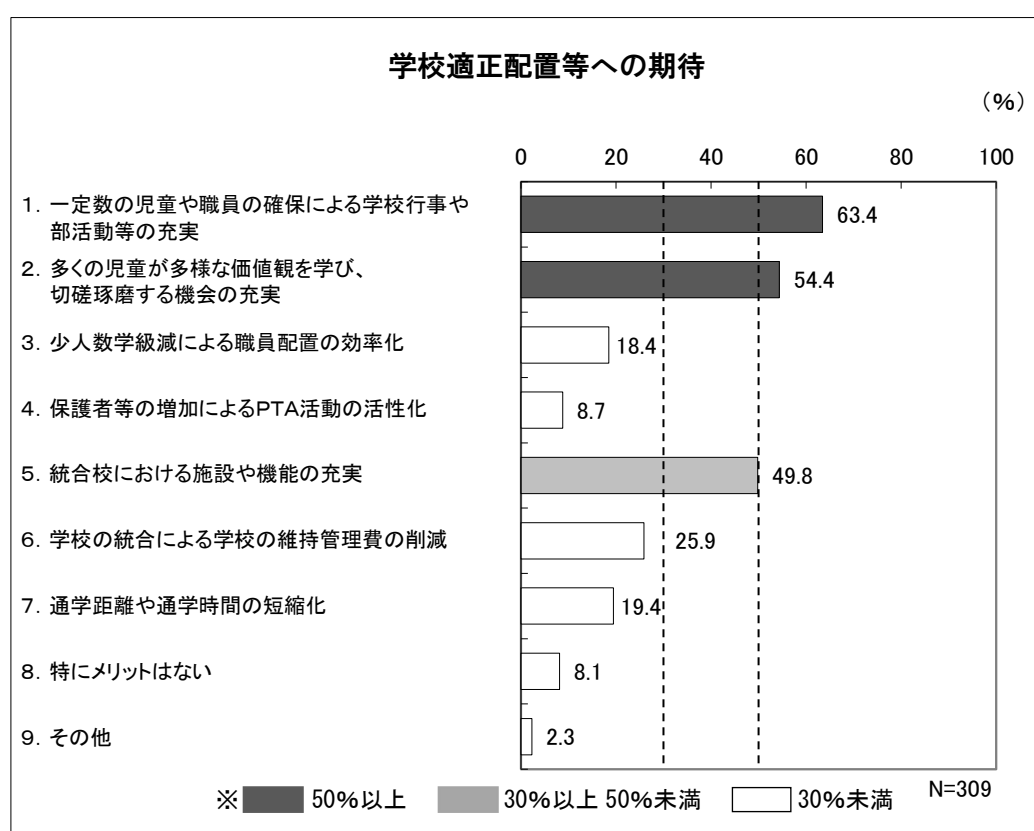
- ・未就学児のみの世帯と小学生のいる世帯では、その他（中学生のみを含む）と比べて、「2. 説明会等を開催してほしい」が多くなっています。



■ 問 1 1 . 学校適正配置等への期待 [複数回答]

○「学校行事や部活動等の充実」が6割以上、「多くの児童が多様な価値観を学び、切磋琢磨する機会の充実」が半数以上を占め、特に期待が大きくなっています。

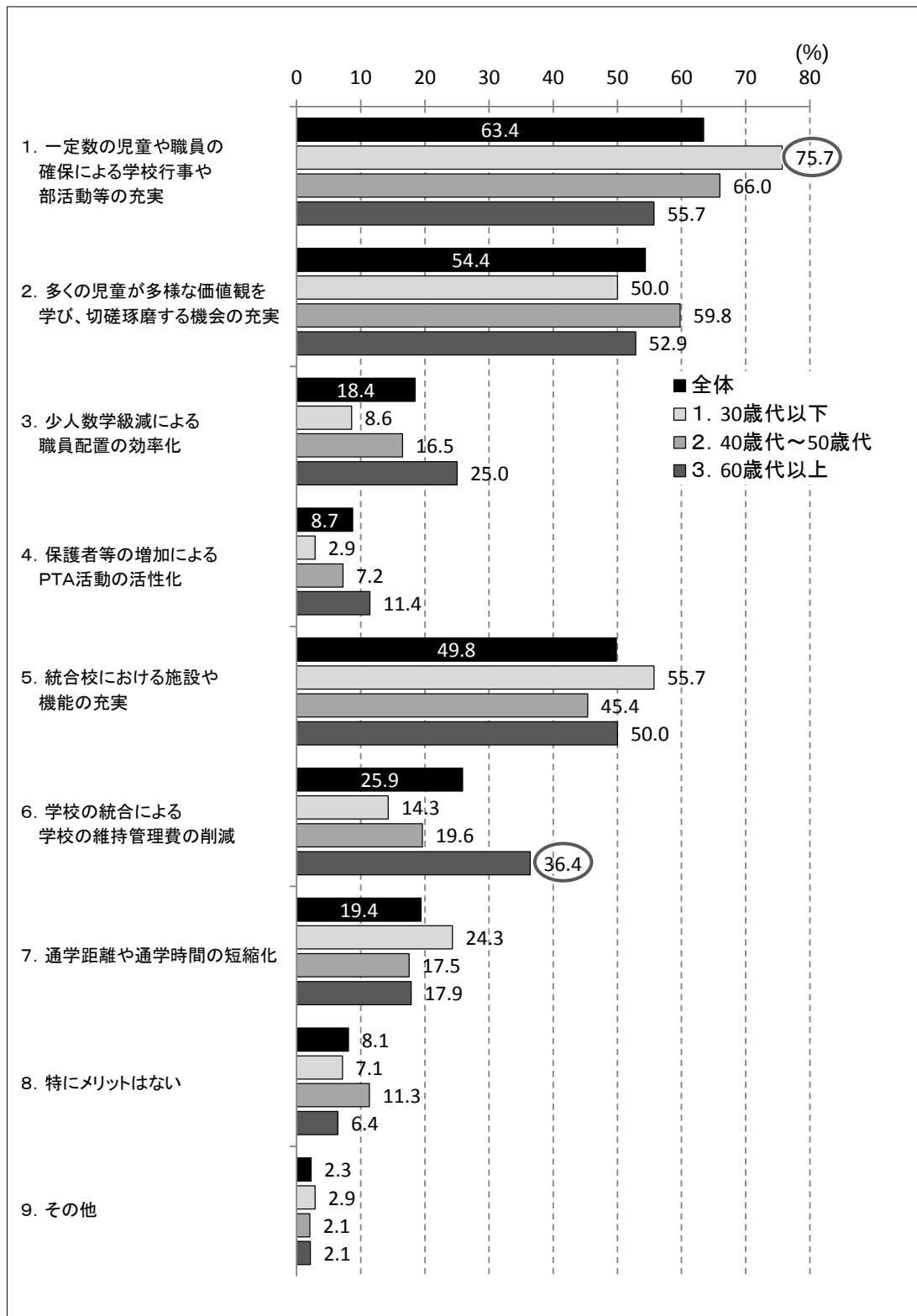
- ・「1. 一定数の児童や職員の確保による学校行事や部活動等の充実」が 63.4%で6割以上を占め、次いで「2. 多くの児童が多様な価値観を学び、切磋琢磨する機会の充実」が 54.4%で半数以上を占めるなど、特に期待が大きくなっています。
- ・また、「5. 統合校における施設や機能の充実」も 49.8%で半数近くを占め、期待が大きくなっています。
- ・一方で、「4. 保護者等の増加によるPTA活動の活性化」は 8.7%、「特にメリットはない」は 8.1%で、1割を切っています。



【年齢別】

○ 若年層では子どもの教育環境に対する期待が多くなっています。

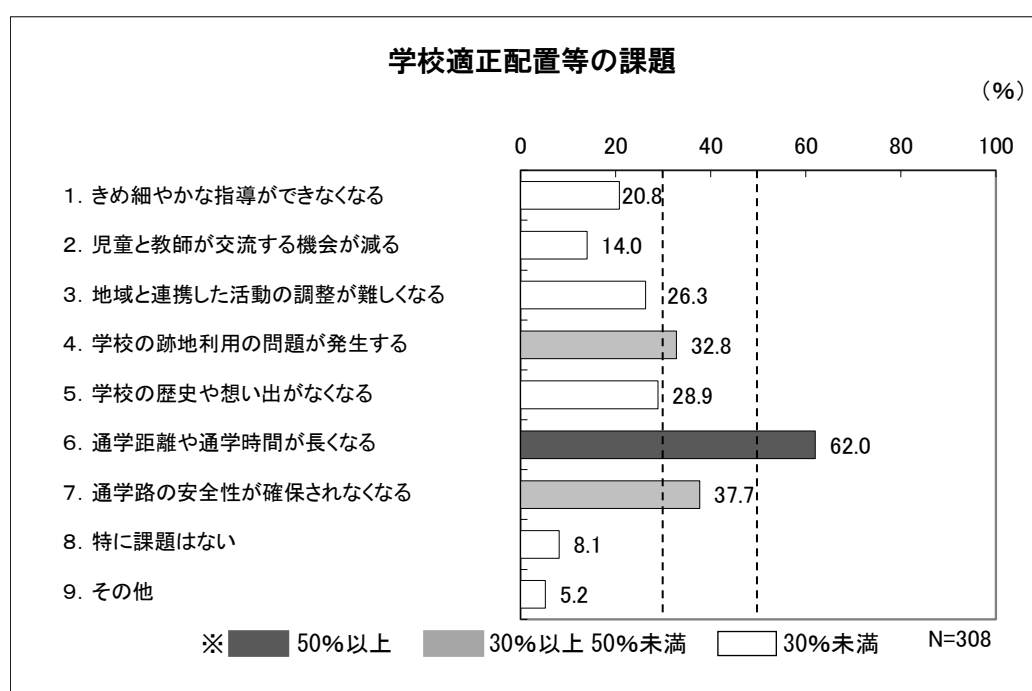
- ・ 30 歳代以下では、「1. 一定数の児童や職員の確保による学校行事や部活動等の充実」が 75.7% でおおよそ 4 分の 3 を占め、特に多くなっています。
- ・ 60 歳代以上では、他の年齢層と比べて、「6. 学校の統合による学校の維持管理費の削減」が多くなっています。



■ 問１２．学校適正配置（学区・学校の再編）等の課題〔複数回答〕

○「通学距離や通学時間が長くなる」が6割以上、「通学路の安全性が確保されなくなる」が4割近くを占めており、通学の距離、時間、安全性が課題になると考える人が多くなっています。

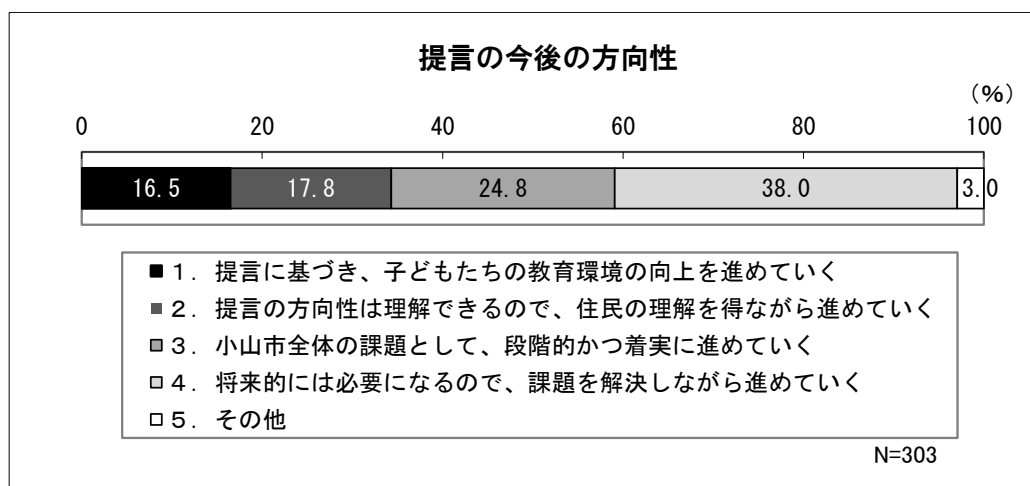
- ・「6．通学距離や通学時間が長くなる」が 62.0%で6割以上を占め、特に多くなっており、次いで「7．通学路の安全性が確保されなくなる」が 37.7%で4割近くを占めていることから、通学の距離、時間、安全性が課題になると考える人が多くなっています。
- ・また、「4．学校の跡地利用の問題が発生する」が 32.8%で、3割を占めています。
- ・今後、必要に応じて、スクールバスの導入など、通学手段や安全性の確保に向けた具体的な方策を検討することが課題になると考えられます。



■ 問 1 3. 提言に対する今後の方向性 [単数回答]

○「将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」が4割近くを占め、最も多くなっています。

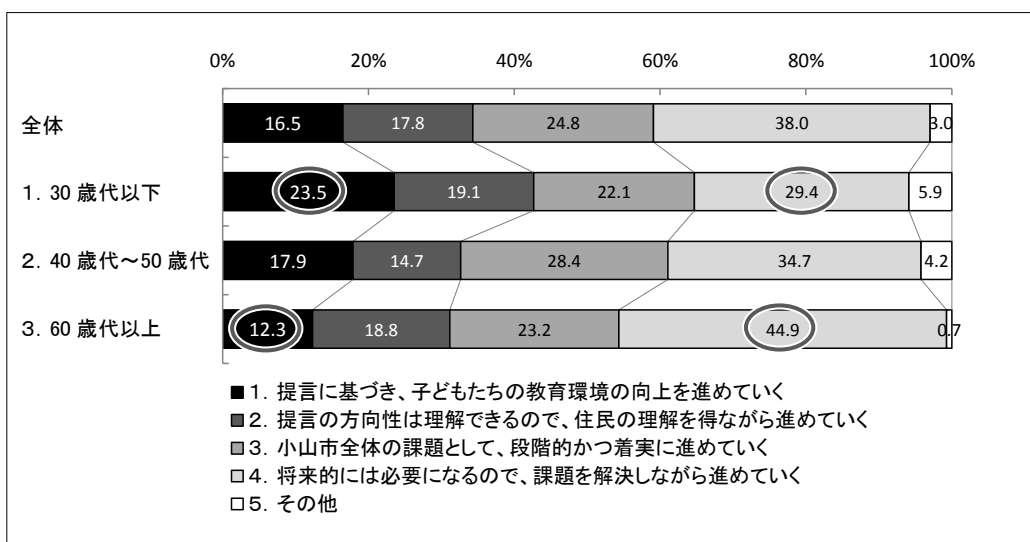
- ・「4. 将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」が 38.0%で4割近くを占め、最も多くなっています。



【年齢別】

○ 年齢層が低くなるにつれて、「1. 提言に基づき、子どもたちの教育環境の向上を進めていく」が多くなる傾向にあります。

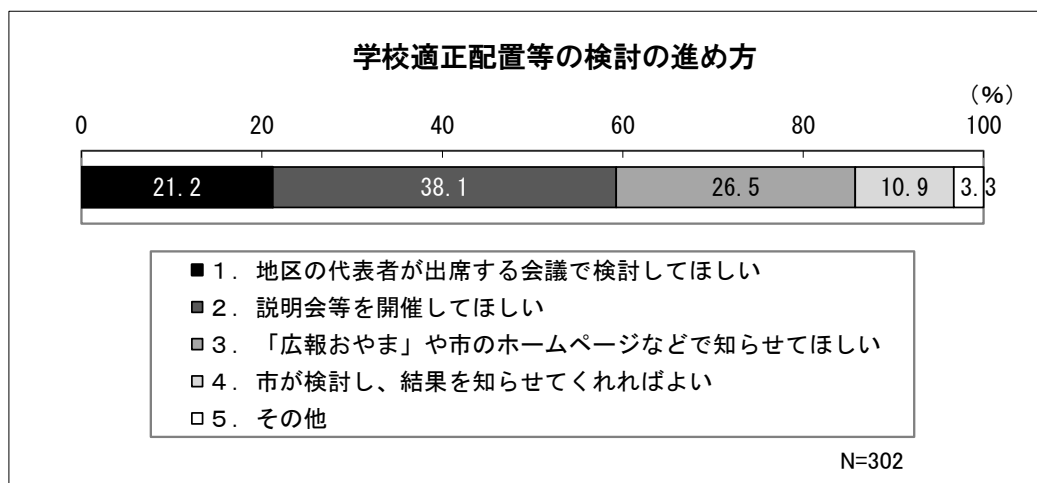
- ・30 歳代以下では、他の年齢層と比べて、「1. 提言に基づき、子どもたちの教育環境の向上を進めていく」がやや多く、一方で、「4. 将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」がやや少なくなっています。
- ・60 歳代以上では、他の年齢層と比べて、「4. 将来的には必要になるので、課題を解決しながら進めていく」が多く、一方で、「1. 提言に基づき、子どもたちの教育環境の向上を進めていく」が少なくなっています。



■ 問 1 4. 学校適正配置（学区・学校の再編）等の進め方〔単数回答〕

○「説明会等を開催してほしい」が4割近くを占め、最も多くなっています。

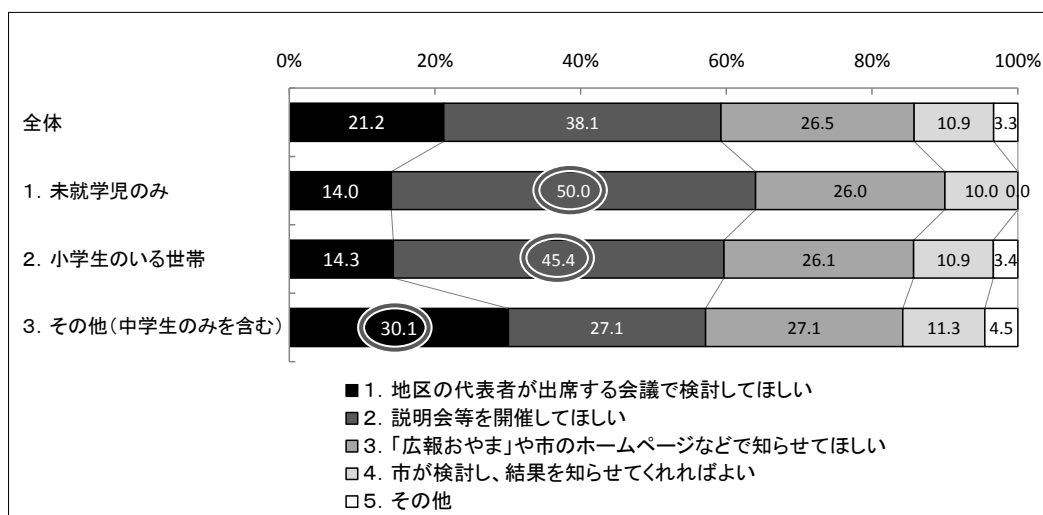
- ・「2. 説明会を開催してほしい」が38.1%と4割近くを占め、最も多くなっています。
- ・次いで「3.「広報おやま」や市のホームページなどで知らせてほしい」が26.5%で、概ね4分の1を占めています。
- ・今後、説明会等の開催により、地域住民への周知・PRや意見交換を行いながら検討を進めることが課題になると考えられます。



【子どもの年齢・学年別】

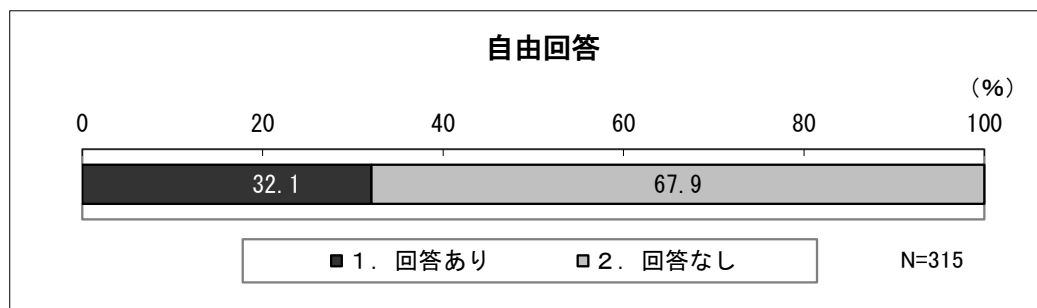
○小学生以下の子どもがいる世帯では「2. 説明会等を開催してほしい」が特に多く、その他の世帯（中学生のみの世帯を含む）では、「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」が多くなっています。

- ・未就学児のみの世帯や小学生のいる世帯では、その他の世帯（中学生のみの世帯を含む）と比べて、「2. 説明会等を開催してほしい」が特に多く、概ね半数を占めています。
- ・その他の世帯（中学生のみの世帯を含む）では、「1. 地区の代表者が出席する会議で検討してほしい」が最も多く、概ね3割を占めています。



■ 問 1 5 . 小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の推進に関する自由意見

- 小山市や豊田中学区における小中一貫校や学校適正配置（学区・学校の再編）等の推進に関するご意見やご要望、アイデアをいただいた結果、3 割の方から回答をいただきました。



- 回答者の属性別意見数を見ると、小学生以下の子どもがいる世帯の方からのご意見が124件、その他の世帯の方からのご意見が57件、合計181件となっています。
なお、複数のご意見がある場合は、それぞれの分類に仕分けしています。

A. 小学生以下の子ども いる世帯のご意見	B. その他の世帯のご意見	合 計
124 件	57 件	181 件

- また、いただいたご意見全体からは、主に以下のような意見がありました。

【主なご意見の種類】

- 1 通学距離や通学時間、通学路の安全性に関するご意見 【30件】
- 2 子どもの教育環境、学校行事や部活動等に関するご意見 【27件】
- 3 学校規模や学区・学校の再編等に関するご意見 【27件】
- 4 検討の進め方に関するご意見 【25件】
- 5 統合校の施設や機能、場所等に関するご意見 【20件】
- 6 小中一貫校や小中一貫教育の推進に関するご意見 【13件】
- 7 スケジュールや予算等に関するご意見 【10件】
- 8 少子高齢化、人口減少対策に関するご意見 【8件】
- 9 学校の跡地利用に関するご意見 【6件】
- 10 その他のご意見・ご感想等 【15件】

資一２．豊田中学区における説明会の結果概要

豊田中学区において、１０月末から１２月初めにかけて、保護者や自治会等を対象に、計５回の説明会を実施しました。その結果概要は以下のとおりです

■ 第１回 地元説明会（豊田中学区）の実施概要

実施日	対 象	参加者数
１０月２９日（水）	豊田北小（保護者）	２７人
１１月 ６日（木）	豊田南小（保護者）	１６人
１１月１４日（金）	豊田南小（自治会）	８人
１１月２６日（水）	豊田北小（自治会）	１３人
１２月 ４日（木）	豊田公民館（全 体）	８人
合 計		７２人

また、いただいたご意見全体からは、主に以下のような意見や質問がありました。

主なご意見・ご質問の整理

【主なご意見】

- １ 豊田中学校の部活動も充実させてほしい【５件】
- ２ 通学路の安全性を確保してほしい【４件】
- ３ 人口を増やすための取り組みを検討してほしい【３件】
- ４ ９年間にわたってクラス替えがない状態を解消してほしい【１件】
- ５ 中学校の学区・学校の再編も検討してほしい【１件】
- ６ 学校適正配置等に関する周知・PRを徹底してほしい【１件】

【主なご質問】

- １ 小中一貫校等のスケジュールに関する質問【３件】
- ２ 中学校の学区・学校再編に関する質問【２件】
- ３ 児童生徒数を増やす取り組みに関する質問【２件】
- ４ 新設校の場所に関する質問【２件】
- ５ 小中一貫校における小中学校の連携に関する質問【２件】

連絡先／小山市教育委員会 教育総務課

〒323-8686 栃木県小山市中央町1丁目1番1号

TEL 0285-22-9658 FAX 0285-22-9650

URL <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

・平成27年3月 初版